

小児血液腫瘍

集学的治療の実施状況 (:実施/×:未実施)

診療を実施していないがんについて、表の記載は不要

当該疾患の診療を担当している 診療科名と医師数				治療の実施状況 (:実施可/×:実施不可) 昨年実績(あり/なし) 平成25年9月1日～平成26年8月31日						各診療科における当該疾患 の治療の特色・患者さんへの メッセージなど	当該疾患の治療に関する内容が 掲載されているページ				
主な診療科名 (5診療科まで)	医師数	当該疾患を専門として いる医師数	化学療法	移植			放射線療法		ページの見出しとアドレス トップページ以外を2つまで記載して ください アドレスは、手入力せずにホーム ページからコピーしてください		掲載されている内容				
				自家末梢 血幹細胞 移植	血縁者間 同種造血 幹細胞移 植	非血縁者間 同種骨髄移植 または臍帯血移 植	体外照射	全身照射			治療 内容	治療 実績	医師の 専門 分野		
1	血液・腫瘍科	8	8	状況						移植関連併症を軽減する目的と、免疫療法としての移植をめく敵として、同種移植を骨髄非破壊的前処置で行っています。子どもに対する造血幹細胞移植実績は全国1位です。	見出し	難事性小児がんに対する造血幹細胞移植			
				実績	あり	なし	あり	あり	あり		なし	アドレス	http://www.mch.pref.osaka.jp/hospital/department/ketu		
2				状況							見出し				
				実績								アドレス			
3				状況							見出し				
				実績								アドレス			
4				状況							見出し				
				実績								アドレス			
5				状況							見出し				
				実績								アドレス			

治療実績のある再発、難治症例の疾患名
平成25年9月1日～平成26年8月31日

ALL,AML,CAEBV,LPD,HPS,バーキットリンパ腫